

人を対象とする医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学耳鼻咽喉科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 28 年 9 月

福島県立医科大学医学部耳鼻咽喉科学講座 講座主任 室野重之

【研究課題名】 3DCT を利用した側頭骨の分析に関する研究

【研究期間】 平成 28 年 10 月～令和 8 年 9 月

【研究の意義・目的】

側頭骨は外耳道、中耳、内耳、内耳道を形作り、聴こえに関わる鼓膜や耳小骨、蝸牛、平衡バランスに関わる前庭や三半規管に加え、顔面の表情に関わる顔面神経や内頸静脈、内頸動脈などの重要な脈管をもその中に有しています。その構造は微細かつ複雑ですが、耳疾患を深く理解するため、また手術を安全性に行うために、耳鼻咽喉科医は側頭骨の構造に熟知することが求められています。

側頭骨の中にある諸々の構造についての分析は古くから行われてきましたが、これらは解剖学的な手法に依存したものでした。近年 CT 検査、とりわけ three-dimensional computed tomography (以下 3DCT) に関する技術が飛躍的に向上し、それに伴い 3DCT 画像上の 2 点間の距離や 2 直線の為す角度などが容易に計測できるようになりました。これにより解剖学的手法では手技的に難しいと予想される計測を含め側頭骨の中にある諸々の構造の分析が、3DCT 画像のみから実施できるようになりました。

診療の中で得られた 3DCT 画像を基に、側頭骨の中にある各種構造の分析方法を確立し、これまでの明らかにされた報告と比較することにより、3DCT 画像からの分析結果と解剖学的手法による結果の相違を明らかにできると考えられます。また分析結果を耳の状態、聴力などと関連性を調べることにより、耳の構造や生理、さらには耳の病気についての新たな知見が得られることが期待されます。

【研究の対象となる方】

2006 年から 2021 年までの期間に当科で側頭骨 CT 検査を受けた方が対象となります。

【研究の方法】

対象となる方のカルテを確認し、年齢、性別、現病歴、診断名、鼓膜所見、聴力、耳管機能検査、初診後経過などの医療情報を収集します。3DCT の画像上で距離計測等の機能を利用して、側頭骨内に内包される各種構造について計測・分析を行います。

3DCT 画像から得られた測定結果を分析し、他の施設からの報告と比較するとともに、分析結果と耳疾患や耳内所見、聴力等との関連性についても解析します。

【研究組織、研究機関名】

研究責任者	福島県立医科大学耳鼻咽喉科学講座	教授	室野重之
主任研究者	福島県立医科大学耳鼻咽喉科学講座	講師	今泉光雅
研究分担者	福島県立医科大学耳鼻咽喉科学講座	助手	菊地大介
	福島県立医科大学耳鼻咽喉科学講座	助手	尾股千里

【人体から採取された試料等の利用について】

すでに院内で電子カルテ等に保存されている 3DCT 画像情報および診療録からの医療情報を利用します。

【本研究に関する問合せ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1
公立大学法人福島県立医科大学医学部耳鼻咽喉科学講座 担当 今泉光雅
電話:024-534-1325 FAX: 024-547-1325
E-mail:jibika@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1
公立大学法人福島県立医科大学医学部耳鼻咽喉科学講座 担当 今泉光雅
電話:024-534-1325 FAX: 024-547-1325
E-mail:jibika@fmu.ac.jp